

葛根湯 A エキス細粒「分包」 三和生薬

葛根湯 A エキス細粒「分包」三和生薬は、漢方処方「葛根湯」の水製エキスを服用しやすい細粒の分包にしたものです。



使用上の注意



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - 医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
 - 胃腸の弱い人。
 - 発汗傾向の著しい人。
 - 高齢者。
 - 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - 次の症状のある人。
むくみ、排尿困難
 - 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。
その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症 状 の 名 称	症 状
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝 機 能 障 害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
*多形紅斑	皮膚が広い範囲で赤くなる、水疱が皮膚の赤い部分にあらわれる、高熱、のどの痛み等が持続したり、急激に悪化する。

- 1 ヶ月位（感冒の初期、鼻かぜ、頭痛に服用する場合には 5～6 回）服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

用法・用量

次の 1 回量を 1 日 3 回食前又は食間に服用すること。

年 令	1 回 量
大人（15 才以上）	1 包
7 才～14 才	2/3 包
4 才～ 6 才	1/2 包
4 才 未 満	服用しないこと

〈用法・用量に関連する注意〉

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

成 分

本品 1 日量 …………… 3 包（1 包 2.0 g）中
葛根湯エキス …………… 4.1 g

カッコン …………… 4 g	シャクヤク …………… 2 g
マ オ ウ …………… 3 g	タイソウ …………… 3 g
ケ イ ヒ …………… 2 g	ショウキョウ …… 1 g
カンゾウ …………… 2 g	

上記の生薬より抽出したエキス

添加物として乳糖、セルロース、部分アルファー化デンプン、ステアリン酸 Ca、無水ケイ酸を含有する。

保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- 小児の手の届かない所に保管すること。
- 他の容器に入れ替えないこと。（誤用の原因になったり品質が変わる。）
- 1 包を分割した残りを服用する場合には袋の口を折り返して保管し、2 日以内に服用すること。

● お問い合わせ先

本品の内容物についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。

消費者くすり相談室 TEL 0570-095770
10:00～17:00（土、日、祝日を除く）

本剤は、生薬を使用しておりますので、製品により多少色が異なることもございますが、効能・効果には変わりございません。

適応症

体力中等度以上のものの次の諸症：

感冒の初期（汗をかいていないもの）、鼻かぜ、鼻炎、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛み



三 和 生 薬 株 式 会 社
栃木県宇都宮市平出工業団地 6-1